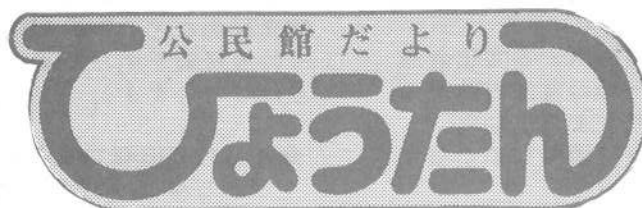


昭和57年4月

4月号

No. 119



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476番

生れ変って機能を有効に

公民館長 村井 義明

心のふれあいの場としての公民館改築が久しく望まれていましたが、機運が高まりよう軌道にのり、昨年8月10日起工式が行われました。やく7ヵ月間をかけ、この春偉容を誇るの形容がまことにふさわしい文化の殿堂としてのすばらしい公民館が完成いたしました。

この4月8日落成式典が挙行され、校下のみなさまの前に開館する運びとなりました。かえりみますにこの念願の実現にはまことに長い年月、そして市当局をはじめ校下有志の方々等実に多くの方の御支援御協力を賜りましたその公民館を眺むるに夢のようであり、現実になったことの喜び感無量のものがあります。時あたかも“金沢四百年”意義ある年に完成なったことと併せてみなさま共々その喜びをわかち合いたいものです。

今日までに数しれない物心両面にわたるところの御協力をいただきましたことにあらためて感謝しあつく御礼を申し上げる次第です。

さて時代のニーズに応えるべく新しく総合館として生まれ変わりました、それぞれの分野においてその機能を有効に発揮させなければなりません。語らいの場、心のやすらぎを

求める場としてどうぞ校下のみなさまが御遠慮なさらず御自分の家として、足をお運び下さるよう御願いたします。

先般金沢市より昭和五十七年度社会教育事業として“健やかで心豊かな人づくり”を基調とした四つの柱、五つの重点施策が示されました。これらにもとずき公民館活動も地域の実情に沿って校下のみなさまと共に生涯教育に福祉にと和のある明るく非行のない楽しい社会づくりに専念したいものです。これもみなさまの御協力があればこそその目的を達成できる訳で、どうか公民館活動に積極的な参加を御願いし、御自身の為、そして校下の発展に寄与されますよう心から御願いをするものです。

なお、今後公民館運営におきましても新館に伴う諸問題が数多く提起されることと思います。この点につきましても私を始め公民館委員職員一体となって解決する所存です。どうか校下のみなさま、その意をくんでいただきなお一層の御指導御鞭撻を伏して御願い申し上げます。ごあいさついたします。

記念の各種行事きまる

4月8日の落成を記念して、校下記念行事委員会（代表村井義明公民館長）では衆知を集めた結果、つぎの催しを行う。11日まで一般開放しますので、これを機会に校下のみなさん、おさそい合せのうえご来館下さい。

〈作品展〉8日から11日まで、各教室の生花展、習字、書道、絵画展のほか俳句、水墨など校下有志の特別出品もある。

〈獅子頭展〉お祭りでないとみられない加賀獅子頭展を8日から11日まで行う。石川郷土資料館に保存されている巴町の獅子頭をはじめ象眼、五宝、塩屋4町会の勇姿が一堂にお

目見得する。

〈10日の催し〉もちつき大会（12時半）鼓笛隊・旗行列（午後1時半）映画会（午後3時）と目白押しの催しで子供に開放する。

〈11日の催し〉この日は朝から町会・各種団体対抗歌合戦が賑やかに展開されるほか、藤間流日本舞踊、婦人会の民謡踊り、謡曲も加わり、活発な応援合戦がくりひろげられる。また、この日のため婦人会を通じておでん、すし、やきとり、うどん、そば、煎茶の前売券が発売される。また、隣接空地でトランボリンの模範演技も2時からある。ご協力のほどを。

◆文化会館の使用規定きまる

4月13日から一般の利用に供する文化会館の使用規定、使用料など一切の運営方法がこのほど運営委員会の審議できまりました。

規則をお守りのうえ大いに活用してください。

原則として利用申込みは3日前に所定の用紙に記入のうえ料金を前納すること。使用時間は午前9時から午後9時半まで。

＜瓢箪文化会館使用届＞

1.使用希望室名 2.使用日時(午前、午後〇時〇分～午前、午後〇時〇分 3.使用目的

4.使用設備(舞台、マイク、お茶ポット、料理実習設備、レコードプレーヤー、映写機器暖房、冷房、酒食行為など) 5.利用予定者数男〇人、女〇人、計〇人 6.申込団体名、代表者名、連絡電話

◆利用料金の減免規定

文化会館の利用料金は下記の通りですが、建設の目的にそって校下単位の社会教育関係あるいは社会福祉関係および町会連合会の利用料金は無料とし、町会単位の利用料金は半額とします。ただし、冷暖房料金、お茶代、

酒食行為などの別途利用料金は減免しません。その他疑義を生じた場合は、館長がきめることにしています。

◆4月11日(日)はひさご歩こう会

ひさご歩こう会の4月行事は、11日(日)午前6時公民館前に集合、兼六園の桜見を満喫する。

◆婦人部民謡会の役員きまる

校下婦人部民謡会は、このほど役員をつぎのとおりきめた。

講師 高山外余子 部長 東幸子 会計 徳野克子

なお、同会は毎週火曜日午後7時半から文化会館2階ホールで練習しており、会員を募集している。会費 月1,200円。

公民館は13日から開館

仮事務所の公民館は、3月28日限りで閉館し、新装なった文化会館に移転、4月8日の落成式と11日までの記念行事を終え、13日から平常通りの貸館に入る。

＜利 用 料 金＞

区分 室名	午 前	午 後	夜 間	区分 室名	午 前	午 後	夜 間
	(9:00～12:00)	(1:00～5:00)	(6:00～9:30)		(9:00～12:00)	(1:00～5:00)	(6:00～9:30)
1 F	(円)	(円)	(円)	2 F	(円)	(円)	(円)
会議室 A	1,000	1,200	1,500	料理実習室	800	1,000	1,200
〃 B	1,000	1,200	1,500	児童集会室	500	—	800
〃 AB	1,500	2,000	2,500	講 堂 A	2,000	2,500	3,000
和 室 A	1,000	1,200	1,500	〃 B	2,000	2,500	3,000
〃 B	1,000	1,200	1,500	〃 AB	3,500	4,000	5,000
〃 AB	1,500	2,000	2,500	3F児童図書館	500	—	800
図 書 室	500	500	800	遊 戯 室	1,500	—	3,500
設 備・器 具	暖房 講堂A・B各 500円その他 1基 300円 冷房 講堂 1,500円(A・B 800円) その他 1基 500円 舞台 1,000円 お茶ポット 1本 100円			マイク 500円 料理器具 500円 プレーヤー 500円 酒食行為 500円 映写機 1,000円			

諸紙・印刷・事務用品



小西紙店印刷所

金沢市北町丁5番地-1
電話 31-5379番代

昭和57年5月

5月号

No. 120

公民館だより ひょうたん

発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476番

和気満堂の落成式 ……4月8日 瓢箪文化会館

満開の桜の花ピラが「万歳」のどよめきにまた一枚散った。4月8日の瓢箪文化会館の落成式を祝福するかのようにな……。

校下住民待望の瓢箪文化会館は、1億2,000余万円の巨費と、昨年8月10日起工式以来8ヵ月の日をかけて、スマートで堂々たる鉄筋3階建ての近代的な姿に変身。祝賀行事を終えた13日からは「連夜、各町会、団体、サークル活動の場に利用され、幸先よいスタートを切った。

●…落成式は4月8日午後2時から文化会館2階ホールに主催者の江川金沢市長、高倉市教育長来賓には中西知事、吉田市議長、松本文教、梅田厚生両委員長、元市長の土井登、県議の米沢外秋、米沢利久、土用下欽子氏らまさに各界の名士キラ星の如し。

●…君が代、市民憲章斉唱について若林市社教課長の工事経過報告が型通りに行なわれたが、式辞に立った江川市長は「文部大臣表彰に輝く瓢箪町公民館が、いまや時代の要請を担って児童館、老人憩の家をも併合した新スタートを切り、隣接の児童公園実現とともに将来性を期待する」といって切ったお土産を披露して一同を喜ばせた。

●…来賓祝辞に立った中西知事も「市長さんの斬新で思い切った施策に感心している。当校下は私の本籍地であり、またのゆっくりした機会に呼んでもらいたい」とユーモアた



江川市長から感謝状を受ける沢田建設実行委員会々長(右)

っぷりに落成の偉業を讃えた。

●…謝辞に立った沢田建設実行委員会会長は心なしか感激に声もうわづり勝ちだったが、初心に返って会館運営に魂を入れると力強く決意を述べ、10万円以上の寄付者96名(代表村井公民館長)に金沢市長の感謝状、5万円以上の寄付者と工事請

負関係5社に沢田実行委員会会長の感謝状が記念品とともに手渡され簡潔ななかにも厳粛に閉式した。

●…この日を記念して、正午すぎには隣接の遊園地に三和銀行寄贈の紅梅の記念植樹が行なわれ、桜の名所に紅梅、カイドウ、さつきが四季を色どる日も近い。

●…2階ホール正面横壁には中西知事揮毫の扁額「和気満堂」が掲げられ、校下色をズバリ謳歌すれば、1階和室床の間には江川市長の掛軸「尽而不求」がボランティアの館の使命を示唆して好対照。

記念行事で11日まで賑う

●…昨年11月3日の文化祭を断念してこの開館祝賀に焦点を移したせいか、1階和室には生花教室の妍を競う生花がズラリ30余点。床の間には巴町、塩屋町、五宝町、象眼町の4獅子頭と彦三4番丁平沢成元氏所有の小獅子があたりをへいげいするかのごとく鎮座しての圧観だった。

●…また1階会議室には、絵画、書道、手づくりの人形、押絵、墨絵など校下有志も混っての出品に所狭しの感。小学生の習字や絵はついに3階の児童遊戯室まではみだしたが校下の作家寄贈の中村梅山作「扁壺」吉田富

士夫画「花」岩倉令峰画の「瓢箪」の三大作も訪れた人たちの目を十二分に魅了した。

●…メインイベントは最終日の11日(日)一。10日(土)のもちつき、鼓笛隊を先頭に小学校全児童約500人が参加しての旗行列、映画会に続いて、この日は各町対抗歌合戦。謡曲、日本舞踊、婦人会の民謡踊りにこの日だけでも1,000人を越す人の出入り。うどん、そば、やきとり、おでん、すし、ジュースが飛ぶように売れカラオケの熱気にさわやかな新装ホールも終日ムンムンの賑いだった。

池田 洋子



◀ 式辞をのべる江川市長

祝落成あらかると



▶ 記念の紅梅を植える沢田会長



▲ 大口寄付者96名を代表して江川市長から感謝状を受ける村井公民館長



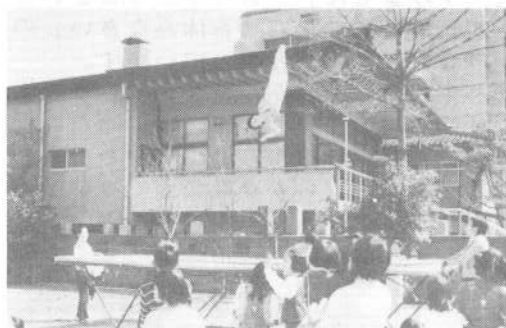
▲ 沢田文化・村井公民・堀部児童3館長らを先頭に校下を一巡する旗行列



◀ 謡曲「鶴亀」を舞う盛永先生とその弟子



▶ 婦人会民謡踊りの「長者の山」



◀ 天空に舞うトランポリンの模範演技



▶ お祝いのもちつき大会で景気づけ

児童館の発足にあたって

児童館長 堀 部 泰 資

巨人軍の藤田監督は自宅で子ども達と話しながら食事をするのを楽しみにしておられるそうです。

「うちの球団の〇〇君は素晴らしい技術をもっている。どこから見てもトップクラスなのに成績がパッとしない。体力がないので追いきみがきかぬ、本当に惜しい人だ。」

キャンプのとき見ていると食物の好嫌がひどい、あれでは体が出来ない筈だ、残念だ。」何気なく話された言葉が偏食の激しい息子さんの胸に響き、偏食が矯正されたそうです。

正面からの忠告は耳に痛く、言う方も聞く方も愉快なものではありません。食事時などの何気ない、会話が思わぬ効果を生むことがあります。

一流の野球の選手になると、個性的で妥協性のない人も多く、チームの和が要求される球団をまとめるのは大変です。でも半年、一年とじっくり時間をかけ話しあい、一人一人の心にふれ、成果のあがるように努めたといっておられます。王さんや牧野さんの力もさることながら、あの巨人軍を復活させ輝かしい優勝にまで導いた藤田さんの力を見逃すわ

けにはいかぬでしょう。

私は小さい頃食事時、親からいろんな話を聞かされました。近所の人のいざこざや、うわさ話もありました。然し「うそつくな」「人に迷惑をかけるな」などを教えられました。また、どちらが善でどちらが悪かはつきり示してくれたのも親でした。それが今の生活を支えているように思えます。

家庭へテレビが入りこみ、テレビを見ながら食事する家庭がふえてきました。せめて全員のそろそろ食事時ぐらい、子ども達の学校であった色々な話、親が職場で見たおもしろい話など語りあう楽しい時間にならぬものでしょうか。少年の暴力行為のふえる今日、そのすべてを学校や社会のせいだとするのは当りません。一人一人自分の家庭は大丈夫かと反省し、真剣に考えるのが本筋と考えます。

こんど、新しく発足した児童館も変動の激しい社会に対応する子どものあり方、親のあり方を考えてみる場としたいものです。

そして、藤田監督のような示唆にとむ話で、子ども達への力ぞえができればよいが……と思っています。(彦三町1-6-31)

健康を喜び交遊の殿堂に

老人憩いの家室長 清 水 外 喜 男

若葉の新緑にさわやかな清風が渡るよき季節となりました。思えば、昨夏3館共有の文化会館建設着工になり、去る4月8日完成竣工式が挙行されました。関係各方面と校下一丸となつての協力援助とただただ見事な建築に目も見張る思いの殿堂と感激いっぱいです。

完成後さらに、不肖浅学非才に拘らず、老人憩いの家の責任者として選任されました。ひたすら身のひき締まる心持で、こんご校下の高齢者の皆様方の心から楽しき殿堂となるよう専心努力いたします。皆様方が今日の健康を喜び、部屋いっぱいに笑い声が溢れ、明日の保健にそれぞれ工夫し、お互い趣味を通じて交通を一層高め、親しみながら余生豊かな日々の続くことを祈念いたします。

最近私がとくに思うことが一つあります。戦後30余年、日本人の英知と勤勉によって、

もうあと2年もすると米国を抜いて、わが国は名実ともに世界一の経済大国になるだろうと聞き及んでいます。

昔から「衣食足りて礼節を知る」といわれます。今こそわれわれ高齢者が次代を背負う壮・青・幼年者にさきがけて「お早うございます」「すみません」「ありがとうございます」「ご苦労さまです」「お休みなさい」の声をかけなければ……と思っています。

道徳と申しまししょうか、礼儀と申しまししょうか、礼節感謝のない社会は、暗い冷たい世の中です。お互いに自からこのあいさつ運動を実行して明るい安らかな社会づくりに努めたいと念じます。

こんごの一段のご協力ご指導よろしく願ひいたします。(瓢箪町5-55)

木外喜男（再・防犯会長） 涌波秀博（再・社福会長） 吉村 武（再・少連委員長） 大村昭男（再・育友会長） 中島外志男（再・消防分団長） 寺垣三和子（再・婦人会長） 新 幸造（再・町連副会長） 清水外喜男（再・同） 岩本 清（再・学識経験） 高屋 廉（再・同） 新野武吉（再・同） 西川善作（再・同） 堀部泰資（再・同） 石丸幹夫（再・同） 久 和子（新・育友会副会長）

◆公民館職員

館長 村井義明（再） 副館長 寺中昭二（再） 松下外三郎（新） 小原英一（新）

部長 〈総務〉 越村 勉（新） 〈広報〉 前玉郁次（再） 〈青少年教育〉 若林 繁（再） 〈成人教育〉 桶良之助（再） 〈体育厚生〉（兼） 小原英一（再） 〈視聴覚〉 後川一洋（新） 〈施設〉 村井 伸（再）

事務局 主事 水落 進（再） 事務員 岡村富美子（再）

郎（再・町連会長） 高

員

美化推進員

田村三枝子
山本正信
藤沢秀雄
田中敏之
西田義直
織部房枝
林富子
池田正一
亀田泰一
岡崎竹雄
福井利明
紺谷信之
今井正

広瀬昭
橋本弘久
中井欣子
涌波秀博
沖田茂男
梅田欽一
清水外喜
千石恒
三井よし
村沢久
永井保
千原浩
東富美
河芳太
芝善照
奥義
横川義

健康推進員

金森一馬
中川秀勅
藤沢秀雄
正田秀和
中川政義
東力源一郎
寺崎富三郎
池田正一郎
間田茂一
村橋敏夫
大岩本喜
大崎喜早

西出博
中村重
川端秀
行野勝
村野五
梅上三
清水田欽
長谷水外
越川喜
磯平男
野勝明
盛永吉
大大滝
芝村甚
山本昭
本幸
蓑敏

杉本君代
高中外美
佃村喜代
玉田真紀
織部佐登
林房枝
泉富子
大富道
吉友訓
新田野茂
吉村昌
山崎小夜
崎子

新木澄
酒井美
松下一
村上紀
中川富
蚊谷百
花村奈
今井歌
大滝清
石崎美
中川智
河上さ
西西美

小坂義雄

池田洋子

57年度行事計画

〈5月〉2日 中央ブロックソフトボール大会
(湊) 23・30日 町対抗ソフトボール春季大会
〈6月〉6日 親子ハイキング中甸緑と花のゼミナー20日 中央ブロックバドミントン大会
(中央体) 23～26日 校下バレーボール春季大会
26・27日 第25回市民体育大会
〈7月〉4日 ゲートボール大会7日 シタフ
アイヤー
〈8月〉1日 水泳教室・大会 6日 映画の夕べ
8日 中央ブロックバレーボール大会(中央
体) 21・22日 民謡踊りの夕べ
〈9月〉12日 公民館対抗ママさんソフトボ
ール大会19・26日 町対抗ソフトボール秋季大会
〈10月〉3日 校下大運動会17日 市民ソフト
ボール大会(湊) 24日 ゲートボール大会24・31
日 市民バレーボール大会27日～30日 町対抗

バレーボール秋季大会
〈11月〉1・2・3日 文化祭21日 第2回市民
バドミントン大会(中央体)
〈12月〉5日 囲碁大会
〈1月〉1日 新年互礼会15日 成人式23日
百人一首大会30日 バドミントン大会
〈2月〉58年度事業計画・予算案検討会
〈3月〉6日 卓球大会
外に経済・政治・文化講演会を適宜

スポーツ開放

月	曜	日(午後6時～9時)	バドミントン
木	曜	日()	バレーボ
土	曜	日()	卓球・バドミントン

◆初の町会対抗歌合戦に象眼下が優勝

文化会館落成を祝って、町会対抗歌合戦が
はじめて4月11日(日)行われたが、出場した7
町会、1団体24名の選手がのどを競った。

日ごろカラオケで鍛えに鍛えたタレントぞ
ろいで審査員も頭を抱えての審査ぶり。

団体では象眼下町会が優勝、2位五宝町上、
3位巴町の順。個人では審査員特別賞(カラ
オケ賞)に「涙の酒」を歌った藤沢秀雄氏(北
親会)が選ばれたほか、歌唱賞に中井和夫
(象眼下)真田通夫(五宝上)土橋千代香(象
眼下)中村一夫(巴町)の4氏が、熱演賞に東
孝之(五宝上)ユーモア賞に永井淳子(婦人
部＝塩屋上)の皆さんが選ばれた。

◆不用の本を児童館へ

校下の皆様方のお蔭をもちまして立派な瓢
箆文化会館が出来あがり、また複合館として
立派な児童館も出来ました。

校下の皆様に心からお礼を申し上げます。
つきましては児童図書室には、現在図書がなく
誠に申し訳ございませんが、皆様方のお家に子
供様が大きくなられて、ご不用のご本があり
ましたら児童館の方へご寄付いただければ幸
いだと思います。よろしく願います。

(児童館からのお願い)

◆園芸教室の会員募集

ことしも6月から園芸教室「緑と花のゼミ
ナー」を開設します。目下講師、教材につい
て折衝中です。家庭菜園なども取りあげたい
と思いますが、受講希望、特別希望の演題が

あれば会費千円をそえて早日に公民館(電話
21-1476)へ申出て下さい。

◆5月は日赤募金の月

ことしの日赤募金は、瓢箆町校下の目標額
49万5千円で昨年なみです。5月は日赤の社
員募集月間とあって、近く各家庭の皆さまに
募金用封筒が配付されます。300円以上納入
の方は社員となります。5月25日までに町会
ごとに文化会館へ納入して下さい。

◆図書館のご利用を!

文化会館には1階に大人用、3階に児童用
の図書室があります。児童用はほとんど蔵書
がありませんが、市立図書館の好意で約7
揃えました。

〈新刊図書〉大人用 負けないうテニス、トキ
ワ荘物語、艶笑コレクション、ヒート、浪
人横丁、惑星大予言、赤ちゃんを幸福にす
る名前、新宿心中、第2次宇宙戦争など、
児童用 ねたきりになったおとのさま、森
のバブチイ、ねえきいてよ、ふりむけば風
のなかに、青空大将、鳥の島漂流記など



初登場の町会対抗歌合戦に熱演のタレントたち

昭和57年6月

6月号

No. 121



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476番

公民館と私

スポーツで健全な環境を

公民館副館長
(兼)体育部長

小 原 英 一

新緑と云う声を聞き、北陸の人々は漸く戸外に爽やかな自然を求めて足を運ぶこと、なるようです。

緑豊かな大地を求め新鮮な大気を胸いっぱい吸収し全身の調整が取れた頃、丁度この季節を待つかの如く、公民館の屋外体育行事がスタートします。

体育行事を企画する度に感じるのですが、多様化しているこの時代に、また高齢化社会の中で地域住民の方が、どのような種類のものを求めているかと云うことを考え、またスポーツを通じて、どのように校下の方々の親睦に寄与し役立っているかを頭に置き運営してきました。

現在行われている体育行事は、最大の花形は大運動会ですが、53年度よりソフトボール、バレーボール大会の2種目を中心に実施したところ当初より18町会が参加するに至り両種目とも55年度より年2回の開催にしたところ

町会の選手同士が路で顔を合わす度に挨拶する姿を多く見かけるようになり真のスポーツを通じた健康な人間環境作りの場となっていることを心からよろこんでいます。また水泳教室及び大会、高年齢者の方でも参加で

きるゲートボール大会を昨年開催し、室内では卓球大会の他にバドミントン大会を加え、公民館体育行事も、若年層より高年齢者と総ての年齢層を網羅したものとなりました。

なお、市が主催する体育大会にも多く参加し、その中でも55年度行われた第34回市民バレーボール大会においては、一般男子の部で栄誉ある優勝に輝き、市中心部の過疎化の中で瓢箪公民館こゝに在りと市民に示したところと

です。公民館行事としてのスポーツは勝負にこだわることなく、巾広い年齢層を対象に一人でも多く参加する、参加出来る場を作ることにあ

ると考えています。ありふれた言葉ですが参加することに充分意義があります。

各種大会には、町会誘い合って、ゲームの参加に応援し、また個人参加のスポーツ教室でのバドミントン、バレーボールでは趣味を生かし、いずれは、対外試合に出場したいと云う方の門を開き、お待ちしております。体育行事についても引続き、ご協力のほど、よろしく願います。

6月13日(日)は親子ハイキング

青葉目にしみる絶好の行楽シーズン6月13日(日)は校下の親子ハイキングです。卯辰山のすがすがしい空気を胸いっぱい吸いこみながら、親と子の楽しいだんらんの半日を過ごしましょう。

6月13日は当日午前9時文化会館前を出発卯辰山専光寺墓地向いの広場に行き、婦人会役員らの手づくりによるおいしいメツタ汁で各自持参の弁当を食べることにしています。

市レクリエーション協会事務局長の古村先

生を中心にいろんな遊びを習うほか、楽しいゲームも予定されています。

参加無料ですが、弁当、水筒、おわん、はし、タオル、おやつなどは各自で持ってきて下さい。参加申込みは6月8日(火)までに公民館(☎21-1476)

雨天中止のときは、文化会館3階へ午前10時までに集合して下さい。映画、ゲームを室内で楽しみ、メツタ汁で昼食をすることになっています。

◆緑と花セミナーは6月21日開講

家庭に緑と花をモットーに園芸教室を毎年開講しておりますが、ことしは6月21日(月)から10月19日(火)まで家庭菜園もまじえて10回楽しくわかり易い教室を開きます。講師の先生はおなじみの石川花の会の役員である橋本竜太、島村嘉一両氏です。希望者は早目に公民館へお申込み下さい。資料費1,000円。

●6月21日(月)夜7時半開講式、橋本先生の「プランターの野菜づくり」キュウリ、トマト、ナスなど ●6月28日(月)島村先生の廿日大根、ツマ野菜、ピッコロ人参など ●7月12日(月)山草づくりの第1歩(橋本先生) ●7月19日(月)観葉植物の水耕栽培(島村先生) ●8月23日(月)秋に植える球根草花(橋本先生) ●9月6日(月)椿の鉢づくり(島村先生) ●9月13日(月)鉢の種類と用土(橋本先生) ●9月27日(月)咲いた花と咲かせる花(同) ●10月12日(火)庭木の剪定・常緑樹と落葉樹(同)・10月19日(火)ホトトギスの入手しやすい品種と育て方(島村先生)閉講式

◆第8回町会対抗ソフトボール大会

晴天に恵まれた5月23日(日)恒例の町会対抗ソフトボール大会が行なわれた。参加チーム17で激戦を展開、ベスト8が30日(日)再び覇権を競うことになっている。ベスト8の戦績つぎのとおり。

〈1回戦〉岩根町西7-6 象眼町下
 〈2回戦〉塩屋町中8-3 彦三5上
 塩屋町上7-2 巴町 象眼町上7-4
 笠市町 五宝町中II 9-8 岩根町下I
 彦三6番丁8-3 堀川間ノ町 彦三7番
 丁20-0 古餌指町 五宝町上7-3 塩
 屋町下 彦三4番丁21-3 岩根町西



◆6月23～26日は春季バレーボール大会

春の町会対抗バレーボール大会は、6月23日(水)から26日(土)まで4日間夜7時から小学校体育館で開かれます。練習(木曜)して下さい。

◆仲良しスポーツ少年団6月20日に運動会

サッカー、バスケットで少年の心身を鍛えている仲良しスポーツ少年団の家族運動会が6月20日(日)午後1時から瓢箪町小学校運動場で行なわれます。雨天のときは体育館。

◆大野さん児童館へ「本をありがとう」

5月号館報で「児童館に不用の本を」と呼びかけたところ、さっそく学研まんがと、江戸川乱歩の少年探偵シリーズ30巻が寄られました。寄贈主は瓢箪町2-5大野耕嗣氏です。ありがとうございました。

◆ひさご歩こう会7月は森林公園へ

ひさご歩こう会は発足以来すでに200回を数えるが、5月のタケノコ朝食会について6月6日(第206回)午前6時から長田町方面の神社参拝をする。7月は4日午前9時からバスで津幡の森林公園へ行くほか、10月17日は新大牧温泉へ行く予定。そのほか8月1日は午前6時から犀川散策、9月5日は金沢城内と周辺、11月は小立野方面の寺院参拝、12月5日は材木町曙町方面、1月9日は新年初顔合せを兼ねて八幡宮参拝、2月3日は卯辰山方面、寺社参拝、3月6日は兼六園梅林散策と例年のコース。

◆浅野川の一斉清掃は6月27日

浅野川沿岸5校下27町で結成している浅野川を美しくする会(第2区)の57年度総会。5月28日午後7時半から瓢箪文化会館でひらき、夏の清掃日を6月27日午前7時ときめた。瓢箪校下では母衣町、北親会、岩根町東、西、下一部、あげば、堀川間ノ町の7町会。

◆町連理事に中川、寺崎両氏

町会連合会副会長加賀谷明氏がやく20年歴任した彦三5番丁上組町会会長を辞めたため、町連理事会では理事2名を補充することになり、新理事に中川外志博(笠市町)寺崎富三郎(彦三4番丁)両町会会長を選任、さる4月28日の町会長総会で正式承認した。

6月25日～7月7日
七夕セール

みなさまの
横安江町商店街

昭和57年7月

7月号

No. 122



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476番

公民館と私

熟年プラス若いエネルギーを

広報部長 前玉郁次

古い話ですが、私が瓢箪町公民館へはじめて入ったのが校下の成人式でした。前の公民館は建てて3、4年経った頃で式典は夜おこなわれ、百人以上の成人がゴザをしいた2階ホールに坐っていました。今と違って男子は学生なら黒のつめえり、女子もほとんどがふだんの洋服といういでたちで、ない袖はふれない質素な時代でした。あれから30年近くも過ぎたとは思えませんが、いつのまにか自分の子どもが成人してしまい、また古い公民館にかわって、内外ともに面目を一新した瓢箪文化会館がりっぱに竣工して新しい歴史のページをつづりはじめました。

成人式以後の25年あまり、公民館の活動にはほとんど協力もせず過ごしてしまった私ですが、ようやく微力ながらお手つだいらしきものをはじめてから5年目に入りました。

公民館が身近なものに思えるようになって気がついたことは、日ごろ活動の中心となつていろいろな行事の世話を熱心にやっておられる方の多くが、はたらきざかりの「オイソ」や「ヒマナ氏」であることです。当然のことながら、奉仕のこころとひまの有無は関係がないことを改めて教えられました。自分のことはたなに上げて一言いわせていただけるなら、現在活動の中核である熟年パワー

の一層の充実と、公民館の将来のために、より若い年代層のエネルギーがプラスされるならどんなに心強いかわかりません。

広報部の主な役目は、毎月校下の皆さんにおとどけしている公民館報「ひょうたん」の編集ならびにポスターや看板などで各種行事のPRをすることです。市内に54もある公民館の中でも館報を毎月発行しているのは瓢箪町公民館ただ1つと聞いていますが、これからもこの慣行を守って、活動のお知らせを鮮度のおちないうちにおとどけするとともに、皆さんからもご意見をお寄せいただいて内容の充実に努めていきたいと思っています。

新しい建物ができて、公民館行事の開催にもたいへん都合がよくなりました。校下民の1人として、また公民館委員の一員としてまことにうれしく、この文化会館建設のために何年も前からご苦勞を重ねられました諸先輩に感謝の気持ちでいっぱいです。

校下の皆さん、これからも公民館主催のいろいろな催しのポスターがお目にとまることでしょうし、また公民館にはいくつも集会所があって、ご利用をお待ちしていますから、「みんなしていращし、おんぼらーと使うてたい」とお願いしてつたないペンをおきます。

(彦三町2-13-19)

子供の夢育てる7、8月の行事

7、8月は子供たちにとって心身を鍛える絶好のシーズン。7月25日からは楽しい夏休みに入ります。公民館や少年連盟では、つぎのような行事を計画しています。親も子も積極的に参加して下さい。

◎七夕ファイヤー 7月7日午後7時半から瓢箪町小学校々庭で七夕祭の飾りものを焼いて子供の成長をお星さまに祈願する。

なお、ことしも「願いごとコンクール」をひらき、優秀作品に賞をおくる。

◎親と子の水泳教室 8月1日午前9時から小学校プールで親子の水泳教室をひらく。

◎少連ソフトボール、ドッジボール大会

8月1日午後1時から校下少年連盟の町対抗ソフトボール大会(小学校々庭)と5日午後7時からドッジボール大会(小学校体育館)を行なう。優勝チームは8月22・23両日開かれる市大会に出場する。

◎映画会 8月6日午後7時半から文化会館2階ホールで映画会をひらく。

◆ 塩屋町中が念願の初優勝

第8回 町会対抗ソフトボール大会

町会対抗春のソフトボール大会(第8回)は晴天に恵まれた23・30両日曜日にわたり17チームが参加して熱戦がくりひろげられ、塩屋町中組町会が晴れの優勝を飾った。

優勝戦は、ともに初優勝を狙う塩屋町中と彦三7番丁チーム。先制点をあげたのは彦三7だったが、塩屋中も負けじと長打の応酬でたちまち逆転、5回表にはお互い譲らず8対8の同点のまま延長戦に入ったが、塩屋中が過去幾度か優勝戦に駒を進めながら敗退した無念さが爆発してか、6回表に連続2塁打を浴びせそのまま逃げ切った。

準優勝 彦三7番丁 3位 五室町上、五室町中Ⅱ ファミリー賞 古餌指町

戦績つぎのとおり

象眼町下	6	3	8	優勝	8	塩屋町中	9	5	塩屋町中	8	彦三5上	3	堀川間ノ町	2	彦三町6	8	象眼町上	7	壺市町	2	五室町上	7	塩屋町下	3
岩根町西	7	8	21		10		0	2		3														
彦三町4																								
岩根下1	8	10	5		8																			
五室中Ⅱ	9																							
塩屋町上	7	6	13																					
巴町	2																							
彦三町7	20	17																						
古餌指町	0																							

◆ 児童館の本寄贈相づく

新設の児童館用の図書寄贈を「公民館だより」を通じて呼びかけたところ、その後も相ついで手持ちの本が寄贈されている。

岡村やすひろ君(彦三6番丁)がコロタン文庫3冊について池田洋子さん(塩屋町下)から「ファール昆虫記」など8冊をはじめ、堀部児童館長が平凡社の「理科事典」16冊、酒井徳久氏(象眼町上)からマンガ単行本70冊余が贈られ感謝された。

◆ 親子で元気にハイキング

公民館主催の親子ハイキングは、6月13日(日)子供80人、大人40人の120人が参加して行なわれた。

心配した天気もどうにか無事にもち、午前9時すぎ文化会館前を出発、少年連盟や、交通推進隊の役員たちに誘導されながら卯辰山専光寺墓地前の広場に到着、ジュースでひと息入れたあと、さっそく市レクリエーション事務局長の古村吉照さん指導のもとでいろんな

ゲームを楽しんだ。大人たちもゲートボールやバレーボールなどで和気あいの歓声がどよめいた。(写真下)

先発隊の婦人会役員が心こめたメッタ汁に楽しい昼食をとり、宝さがしに家族そろっての半日を過ごし、2時ごろみんな元気に山を下りた。

なお、夕刻からの雨降りで百万石まつりのちょうちん行列は、中央公園まで行きながら中止となり、子供たちはがっかりの表情だった。



◆ 町をきれいにと屑カゴ寄贈

校下の清掃美化に少しでも役立てたいと、校下社会福祉協議会(会長涌波秀博氏)はこのほど母衣町、岩根町東部、あげば会および公民館横の児童遊園地など5ヵ所に大型の屑カゴを寄贈したほか、7月には母子、父子家庭に「みどりの慰問」と題して花の植木鉢を贈り激励することになっている。

◆ 日赤募金は72万余円

校下の日赤募金は5月25日でメ切ったが、このほど日赤支部から各町単位の領収明細書が届いた。その結果、総額72万6,623円となり、目標額49万5,500円に対し146.64%の好成績だった。厚くお礼申しあげます。

◆ 貧血や高血圧は食事療法で

料理実習室ができた公民館では、6月11日(金)午前10時から「貧血、高血圧症を治すための料理」講習会を開いた。

主催者の健康を守る市民の会から派遣された栄養改善普及会の室岡先生ら2人が参加した主婦やく20人を生徒に「うす味」の妙味をレバーに、鶏肉に活かし、とくに牛乳おからなど色とりどりの料理を教え、集会室で自分の作った料理を満足げに楽しく昼食をとった。また24日にも婦人会主催の第2回料理教室が開かれ、同室の利用も徐々に高まってきた。

記念品・内祝贈答品・各種大会賞品・ウチワetc

お中元用品

展示中

浦島進物店

笠市町11-8(笠市郵便局前)
TEL 31-6268

昭和57年8月

8月号

No. 123



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476番

第1回 文化講演に約90人

次回は「戦国時代の群雄の興亡」



(写真は、まずまずのスタートを切った第1回文化講演会)

森講師は、蓮如上人の教化を受けた農民たちが一向一揆となって豪族富樫政親を高尾城に攻め亡ぼし、今の金沢城に金沢御坊をつくった500年前を金沢のはじまりとする説と天正11年6月14日前田利家が金沢城に無血入城した400年前とする二説があるが、後者の400年とするのが適当である、と前置きし当時の金沢の起源をのべた。理由は、江戸城を構築したのは太田道灌だが、徳川家康が江戸城に入って幕府を開いたのが江戸時代のはじまりであり、前田利家がもしも野々市や、小松に入城しておれば、恐らく金沢の今日はないと考えられるからである。そして、前田利家の死後最大の危機を迎えたのは二代目利長のときであり、徳川家康に謀反の意思のない証據として自ら進んで人質となり、15年間も江戸送りとなった母芳春院(利家の妻)の献身ぶりが後世の金沢発展の大きな礎(いしづえ)となったと述べ、感銘を与えた。

○…加賀で一番勢力をもっていたのが富樫政親であったが、戦国時代のはじめ蓮如上人が势力的な一向宗の布教をはじめ、信者の農民がついに一揆となってこの富樫を高尾城に攻め亡ぼした。当時、金沢は山崎村、石浦村、木ノ新保村、安江村、示野村、今市村などに分れていたが、一揆の中心が金沢御坊となり、仏像を祀っていた。この御坊を中心に方角によって西町、南町、後町、堤町(お城の堤を

金沢400年と瓢箪文化会館開館を記念した5回シリーズの文化講演会第1回講演は、7月21日午後7時半から文化会館2Fホールで、講師に郷土史家森栄松先生(県史編集委員)を迎え「400年前の金沢」について行なわれた。聴衆やく90人、なかには熱心にメモをとる姿も見受けられ、まずまずのスタートぶりだった。次回の第2回講演は9月中旬元サンケイ新聞編集委員で「石川百年史」「能登・加賀の合戦」の著者石林文吉氏の「戦国時代の金沢」—群雄の興亡を中心に—です。

つくったので)近江町(近江の人が移り住んだので)などができた。

○…石山本願寺を打ち破った織田信長は柴田勝家、佐久間盛政をもって金沢御坊を攻め落とし、一方北からは上杉謙信が七尾城を落とした。卯辰山に上杉謙信が陣取り、馬をつないだので馬谷などゆかりの地名が残っているが、真偽のほどは不明である。

○…前田利家は、信長のもとで戦い上手であったため、武生3万3千石の領主をふりだしに能登23万石の大名、秀吉の味方となって越中も合わせ82万石。百万石となったのは関ヶ原の戦いの利長時代である。利家は単なる武将でなく、部下3千人の人物評定も厳格で、遺言状にこと細かく書かれているほか梅鉢小判といわれる大判小判を将来味方となる諸大名に貸していた裏面もある智将だった。

◆ 21・22日は民謡踊り

夏の風物詩の代表 民謡踊りの夕べ、は8月21(土)22(日)両日にわたり午後7時半から瓢箪町小学校々庭で行なわれる。

また、この日の本番にそなえて16(月)17(火)両日午後7時半から小学校体育館で婦人部民謡踊りのベテラン指導のもと練習会をひらく。

8月6日(金)ヨル7時半 映画会(文化会館2F)

◆ 彦三5番丁下がバレーに優勝

57年度上期の町会対抗バレーボール大会は6月23日(水)から26日(土)まで4日間午後7時半から小学校体育館で行なわれ、激戦のすえ彦三五番丁下が2-0のストレートで塩屋中を破り優勝した。

参加チームは13町会、なかでも初参加ながら3位入賞の横安江町、2回戦進出の母衣町の活躍が目をつけたのははじめ、1回戦から優勝経験をもつ塩屋中と象眼下が激突するなど、4日間にわたり熱戦をくりひろげ、各応援団の熱の入った声援にこたえた。

成績つぎのとおり。

優勝 彦三5下 準優勝 塩屋中

3位 横安江町・彦三7

彦三5下	2	2	優勝	0	0	巴 町
岩根下1	0	2	彦三5下	2	2	母衣町
岩根東	2	1	彦三5下	2	2	塩屋中
古餌指	0	2	彦三5下	2	1	象眼下
横安江町	2	0	彦三5下	1	2	象眼上
彦三2上	0	0	彦三5下	0	0	五宝中2
			彦三5下	1	2	彦三7

◆ ゲートボール大会西部鶴亀会が連覇

昨年夏に続いて7月11日(日)午前9時から第2回校下ゲートボール大会を小学校々庭で開いたが、参加5チームの熱戦の結果西部鶴亀会が公民館を押え2点差で連続優勝した。

秋の大会は10月24日(日)。

(1回戦) 体育部 26-10 鶴亀同好会

(2回戦) 公民館 42-26 児童館

西部鶴亀会 29-24 体育部

(優勝戦) 西部鶴亀会 31-29 公民館

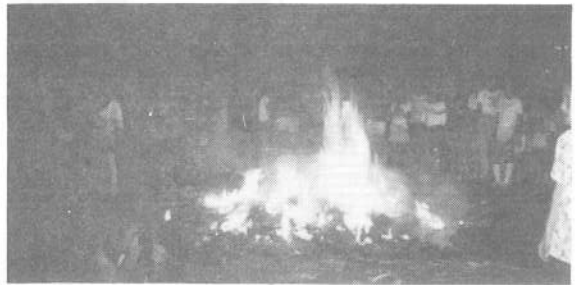
◆ 爆竹音に歓声の「七夕ファイヤー」

7月7日の七夕まつりのかざりを焼く七夕ファイヤーは、7日午後7時半から小学校々庭で盛大に行なわれた。

学校、児童館、保育園などで共同で作った大笹のかざりつけをはじめ、各家庭で母子仲良く作った「七夕さん」を三々五々手に親子総勢400余人。朝からのツユも幸いやみ、暗やみとともに燃えだした大小様々の笹かざりは勢いよく爆竹音をたてながら子供の多くの夢をのせて星空へ煙となって舞いあがった。

なお「ねがいごとコンクール」は受付けた短冊92のうち1年生山本君ら10人が入賞し大学ノートやえんぴつが贈られた。「大きな

つたらおさかな屋さんになりたい」「おばあちゃん早く治って」「早く12歳を泳げるように」「通信簿が良くなるように」など子供らしい夢がお星さまへの願いだった。



◆ 8月6日(金)は映画の夕べ

夏休み中の子供たちの夢を育て、健全な成長を願う意味から、公民館、児童館、青少年健全育成会議共催の「映画の夕べ」を8月6日(金)午後7時半から文化会館2Fホールでひらく。

上映する映画は、鉄道のおつきかわり、海底2万マイル、シンドバッドの冒険です。親子そろって見に来て下さい。

◆ 文化会館に車イス常備

文化会館に車イス1台がこのほど常備されました。ご利用の方は気軽に申込んで下さい。

この車は、岩根町西部の民生委員松本三郎氏が寄付されたもの。

◆ 児童館にトランポリン、土俵マット整う

下校後の子供たちが楽しく遊び、読書する児童館の利用は、日ましにふえているが、7月8日待望のジョギングトランポリン、サージャット、土俵マット、トランポリンツイスター、トリムジャンボリンなどが搬入され、遊びの範囲も一段と拡大強化された。

◆ 児童館に善意の本相つぐ

児童館用の図書にと象眼町下丁町会の紺野康博さん、五宝町上組の清水悦子さん、岩根町下1組の泉雄吉さんからマンガ、おとぎばなしの本などやく200冊が寄贈された。

◆ 社福、愛の贈りもの

校下社会福祉協議会は、このほど夏の贈りものとして父子、母子家庭38世帯に民生委員を通じて「愛の植木鉢」をおくり激励した。

また、7月22、29両日ひとり暮らしのお年寄り10人ずつを文化会館に招待し、婦人会の心づくしの料理をご馳走した。

フード&ギフト

中川酒店

金沢市此花町11番22号

北国銀行笠市支店前

TEL 21-2667

映画は「海底2万マイル」など3本

昭和57年9月

9月号

No. 124



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476番

“民謡踊り”に千余の人の輪

さす手ひく手も鮮やかに



夏の風物詩、校下恒例の“民謡踊りの夕べ”は、8月21(土)22(日)両日午後7時から瓢箪町小学校々庭で盛況裡にひらかれた。

会場中央部に特設された踊り舞台のやぐらには、ことし新調した紅白のまんまぐが赤、

黄色の電飾に浮きぼりされてまさに不夜城のよう。婦人会の民謡踊りの高山外余子先生を中心に日ごろ鍛えた婦人部の幹部連がさす手ひく手も鮮やかに輪となって披露。ゆかた姿の子どもたち、そろいの踊り姿の北陸信用金庫彦三町支店の男女、おたふくの面を被った飛び入りの人々総勢千人余の人の波は三重四重に踊りの輪となって夜の更けるまで楽しくすごした。

心配された雨も最終日の10時近くに降っただけで、滞りなく2日間の幕を閉じ、用意した1,900本のアイスクャンデーも飛ぶようになくなり、秋風だけが静かに吹きわたった。

なお、防犯交通委員会では、この日まで夏の防犯パトロールを行なった。

9月の主な行事

【文化講演会】9月29日(水)午後7時半(開場7時)から瓢箪文化会館2階ホール。

講師は「能登・加賀の合戦」上下2巻の著者石林文吉先生で「戦国時代の金沢」を群雄の興亡を中心に約1時間半講演します。

【敬老会】9月18日(土)午後1時から瓢箪文化会館2階ホールで校下の75歳以上の高齢者314名(出席者146名)を招いて敬老会をひらく。

【ソフトボール大会】9月19・26日(日)午前8時から57年度下期町会対抗ソフトボール大会を瓢箪町小学校グラウンドで行なう。

【乳幼児母親学級】3歳児以下の乳幼児をもつ校下の若い母親を対象に6回にわたり勉強会をひらく。近く母親になる人、母親に代って実際の育児に当たっている祖母の参加も歓迎します。第1回は9月9日(木)午前10時から瓢箪文化会館で、講師はスカイビル2階のワセダ歯科早稲田正紀先生の「乳幼児のムシ歯予防」についてです。(関連記事2面に)

10月3日(日)午前9時 於 小学校運動場

第9回 瓢箪町校下大運動会

◆9月9日(木)から乳幼児母親学級

瓢箪町校下の乳幼児母親学級は、9月9日(木)を皮切りに10月21日(木)まで6回にわたり開設する。公民館まで早く申込んで下さい。

毎回午前10時から約2時間の予定ですが、1～2回でも都合をつけて出席して下さい。

◇第1回 9月9日(木) ワセダ歯科

「乳幼児のムシ歯予防」 早稲田正紀氏

◇第2回 9月16日(木) 県レクリエーション

「親子のふれあい体操」 協会指導員

◇第3回 9月28日(火) 金城短大講師

「家庭のしつけと家族の役割」

江間富貴子氏

◇第4回 10月6日(水) 同

「乳幼児の発育過程・特徴・対応策」

◇第5回 10月13日(水) 栄養改善普及会

「離乳食・乳児食のモデル」 リーダー

室岡信子氏

◇第6回 10月21日(木)

「情報交換・反省・評価」 受講生一同

◆文化会館に冷房設備できる

これまで冷房設備がなく、8月の会合はほとんどお休み状態だったが、新装なった文化会館では、このほどやく400万円を投じて冷房設備と事務室の拡張工事を行なった。

2階ホールと1階会議室には大型の冷房機3基が入ったほか、老人憩いの間、事務室、集会室、図書室、休養室などにも小型の冷房機13基が入り、すっかり快適な集会場となった。料金は1基500円～800円。

◆長崎水害の見舞金38万2千円

校下婦人会(会長寺垣三和子さん)は、このほど長崎水害の見舞金を会員1人100円以上で集めていたが、なかには1万円の大口もあって総額38万2千円に達した。

◆“映画の夕べ”に親子200余人

子供たちの健全育成を願って8月6日(金)午後7時半から瓢箪文化会館2Fホールで映画の夕べを催した。

日本の文明開化のあけぼの明治初年の鉄道敷設から今日の新幹線時代までの移り変りをわかり易く説明した「鉄道のうつりかわり」やアニメーションの「海底2万マイル」「シ

ンドバットの冒険」3巻を9時過ぎまで観賞、親子連れ約200人で賑やかだった。

◆児童館へ図書寄付

児童館への図書寄付が相次ぎ、関係者から感激されているが、8月中旬に笠市町4-23、元林よしえさん、瓢箪町1-3岩本工房に勤める西川さん、瓢箪町5-55東幸子さんからやく80冊の本が寄贈された。

◆加賀谷・岡村さんが受賞

町会長を20年間つとめた前町会連合会副会長加賀谷明氏(彦三町1-3-9)は7月末中西知事から永年功労者として感謝状を、また岡村富美子さん(彦三町2-10-18)は7月23日市社会福祉協議会から10年勤続の賞を受けた。

◆宿泊提供ありがとう

7月30、31日三重県鈴鹿千里丘の少年サッカーチームの23人が校下の仲よしサッカー少年団と交歓試合に来沢したが、校下の12世帯に分宿して2泊した。お世話さまでした。厚くお礼申しあげます。(仲よしスポーツ少年団指導員 若林 繁)

◆少年男女とも初戦に敗退

金沢市のこども会交歓球技大会が8月22日行なわれたが、男子は彦三6・7番丁チームがソフトボールに出場、1回戦は不戦勝、2回戦は諸江と対戦したが8対1で敗れた。

女子は塩屋町中組がドッジボールに出場したが予選リーグで敗退した。なお、8月5日行なわれた校下の女子ドッジボール予選の成績はつぎの通り。

塩 屋 中				
0	2	2	0	1
彦	塩	横	古	五
三	屋	安	餌	宝
6	中	江	指	町

◆母子福祉会の法要は9月26日

校下の母子福祉会(会長吉田くみさん)は9月26日(日)午前10時から笠市町11-26西源寺で物故者の合同法要を行なう。

ベースボールショップ

ツ ジ ノ

安江町15-49
☎61-0677

辻野スポーツ

安江町15-44
☎62-3762

昭和57年10月

10月号

No. 125



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476番

文化祭は10月31日 ~ 11月3日

バザー、芸能、作品展など多彩に

11月3日は文化の日—例年この日を中心に、公民館の文化祭を催しますが、ことしはひと足早い10月31日(日)をメインにチャリティバザー(午前)芸能祭(午後)をひらき、同時に他の部屋には11月3日午前中まで生花、絵画、書道、習字などの各教室作品展や校下有志の手づくり品、習作品を展示します。

なお、映画会も期間中に行なう予定で検討しています。(会場いずれも文化会館)

〈記念文化講演会〉 5回シリーズの第3

回目を文化祭記念講演として元県工芸指導所長、初代県美術館長の日展参与、金工芸家高橋介州先生の「江戸時代の金沢」—伝統工芸を基調に—を10月22日(金)午後7時半(7時開場)から開きます。

〈記念バレーボール大会〉 町会対抗バレーボール秋の大会を11月1日から4日間(いずれも午後7時から)小学校体育館でひらきます。

人生の深いシワもほころぶ

児童劇、奇術で喜びの敬老会

瓢箪町校下恒例の敬老会は、9月18日(土)、午後1時から新装なった文化会館2階ホールで盛大に開かれた。

出席したのは、校下75歳以上の317人のうち144人。なかには91歳の坂本ツイ(横安江町)90歳の竹内タミ(彦三7番丁)さんらも元気な姿をみせ、保育園児の舞踊劇、婦人会の民謡踊りや藤間勘映社中の日本舞踊、馬場校下から特別出演の米島武次さんのマジックショーその他カラオケに人生の深いシワもほころびがちだった。

校下一の長寿は94歳の盛永さん

満70歳以上のお年寄は、校下で562人となり、瓢箪町小学校全児童447人を120人近くオーバーする文字通りの高齢化の「まち」。

最高の長寿者は塩屋町下組の盛永津弥さんで94歳。88歳以上の番付表は次頁。



10月24日(日)はゲートボール大会

◆長寿者番付表

〔東〕

〔西〕

塩屋下	盛永津弥94	横	綱	あげば	上野とみ93
彦三7	高田 常92	大	関		
横安江	坂本ツイ91	関	脇	岩根下1	道下きく91
岩根西	高村 重90	小	結	彦三7	竹内タミ90
塩屋中	村上すい90	張出	小結		
横安江	林源次郎89	前	頭	笠 市	井家兵太89
塩屋中	浅谷新治89	"		塩屋中	吉室きく89
笠 市	行野つよ88	"		彦三5	吉本文子88
横安江	浅井ハル88	"		北親会	相川助松88
彦三5	綿谷末松88	"		笠 市	勝田弥生88
塩屋中	石黒ちい88	"			

◆10年勤続表彰に得能、岡村両氏

金沢市公民館大会が9月18日(土)婦人生活会館で開かれたが、その席上10年以上の永年勤続役員として瓢箪町公民館から総務副部長得能繁一瓢箪町12-39、事務職員岡村富美子彦三町2-10-18の両氏が東方市公民館連合会長から表彰された。

◆日赤募金に感謝状2通

校下の日赤募金は、目標額49万5,500円に対し総額72万6,623円と146.64%の好成績だったが、9月20日中西日赤県支部長(知事)から目標達成と早期完納の感謝状2通が沢田瓢箪分区長に手渡された。

◆瓢箪、県ジュニアバドに活躍

第4回県ジュニアバドミントン大会が9月15日県体育館で小、中学生366人が出場、校下から参加した8チームが健闘、中学2年女子で優勝したのをはじめ、小6年女子が2位に入った。

中2女子では、強豪宇ノ気、河北台中を破り、小将町中の校下同志の決戦となり酒井・村上組が浜田・林組を21-19で破り1、2位を獲得した。

小6年女子では堀・後川組(瓢箪)が決勝戦で古沢・吉本組(越路小)に21-6で敗れ2位に、また山口・中西組が2勝、植村・今井組と根布・山寺組が1勝した。

中2男子の部では、小石・北間組(小将町一瓢箪小OB)が準々決勝で藤島・石黒組(宇ノ気)に21-19で惜敗したほか、花野・三伝組が2勝、大島・池田組は善戦空しかった。

◆残念ノソフトボール雨で交歓戦に変更

町会対抗秋のソフトボール大会は、9月19、26両日(日)開くことになっていたが、あいにくの雨で19日は中止となった。

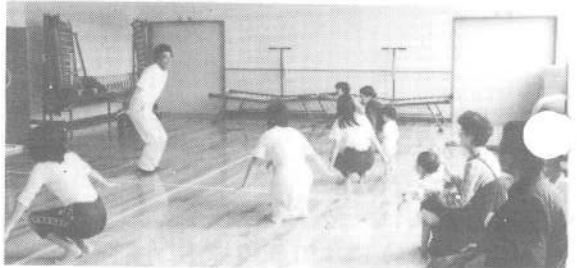
10月3日(日)は校下の大運動会などで順送り困難のため、監督会議の結果26日1日限りとして1~2回戦11試合の交歓戦に変更した。試合結果つぎの通り。

彦三 5	11	5	五宝中二
彦三 6	4	11	横安江町
塩屋上	5	4	彦三2上
象眼下	3	1	塩屋下
彦三 7	4	6	岩根下1
北親会	12	0	笠市町
巴町	4	7	五宝上
象眼上	3		古餌指馬
岩根西	0		塩屋中
堀川間ノ町	12		

◆母親学級は10月6・13・21日

乳幼児をもつ若い母親学級は、9月9日、16日、28日の3回にわたりムシ歯の予防、親子のふれあい体操、乳幼児の発育課程と特徴対応策について専門の先生から親切な指導を受け、出席者の若妻、しゅうとめさんたち10余人は大いに自信を深めたようだった。

10月は6日午前10時から金城短大講師江間富貴子先生の「家庭のしつけと家族の役割」13日は栄養改善普及会リーダー室岡信子先生指導による「離乳食・乳児食」の実技がある。



(写真は親子の体操実技)

◆公民館にも図書寄贈

児童館の図書寄贈は、すでに多くの人たちから約400冊に及んだが、こんどは民生委員新谷房子さん(彦三1-8-23)育友会長大村昭男氏(瓢箪13-18)から公民館へと約400冊の本が寄贈された。

美容と健康に奉仕する…… トクノ薬品

瓢箪町12-39

TEL 31-5290まで

10月22日(金)よる7:30から文化講演会

昭和57年11月

11月号

No.126



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476番

リレーに彦三2下優勝 第9回大運動会

第9回校下大運動会は、心配した雨も当日月3日は好天に恵まれ、予定通り終日楽しい歓声で閉幕した。

午前中は小学校が主体となって元気いっぱい子供らしい競技をみせ、とくに「いじわる競走」や「風船割り競争」などに父兄はじめ一般観衆からワンスの拍手があった。

午後は公民館主体の住民競技となり、玉入れ、大綱引きの紅白団体競技をはじめ町会、団体対抗リレーに熱の入った声援がとび交い力走のあまり転倒者も出るなど、迫力十分の見せ場だった。昨年優勝の巴町が不出場だっ



たが、彦三2下チームが最終ランナーで先生チームを見事追い抜き栄冠を手にした。3位岩根東4位彦三7、5位児童館6位五宝上の順だった。(写真はパン喰い競走)

感銘深かった

文化講演会

金沢400年と文化会館開館を記念した5回シリーズの文化講演会は、9月29日第2回、10月22日第3回の2回にわたり行なった。第2回は歴史作家石林文吉先生、第3回は金工芸作家高橋介州先生の「戦国時代の金沢」と「江戸時代の金沢」でそれぞれ研究の粋を集めてのよい話だったが、残念ながら出席者が少なく通算60名程度だった。1月、3月の第4、5回には多くの参加をお願いします。

○…「戦国時代の金沢」は応仁の乱終結後の1480年から前田利家金沢入城の1583年(天正11年)に至る100年間で、いわば一向一揆の時代といえる。藤原鎌足の子孫富樫家が加賀、能美、江沼の守護職として君臨していたが、兄弟の主導権争いが代々絶えなかった。一方親鸞の8代目蓮如聖人が比叡山の迫害を

受けて近江近松寺から福井吉崎御坊に移り本願寺派の勢力が北陸にひろがった。「進むは極楽、退くは地獄」を合言葉に鉄砲で武装した農民は10万の大軍で富樫政親の1万の軍勢を亡ぼしたが、この一揆もやがて本願寺派と加賀派の内部抗争と織田信長、上杉謙信、武田信玄勢にゆすぶられ、豊臣と手を結んだ前田利家の金沢入城により一揆は亡びた。

○…「江戸時代の金沢」は、前田家歴代の政策として徳川将軍家に柔順の意を表し、将軍家とつねに姻戚関係を結び、武を排して美術工芸など文に力を入れた。この人為的なものと資源に恵まれた天与のものが兼備したところに美術工芸繁栄のもとがある。石川県は人口、面積、財力いずれも全国規模の100分の1というBクラスの下またはCクラスの上の部だが、美術工芸だけは昭和29年人間国宝の指定がはじめられたとき全国33件のうち石川県4件の指定となり全国驚異的となった。

天与の資源としては輪島塗のうるし、生地となるアテ、九谷焼、能登中居の土、友禅染の浅野、犀川の水のおかげである。

◆朝倉雲洞院碑を撤去

公民館隣接の空地奥にあった朝倉雲洞院碑は、近くこの土地を児童公園として利用するため金沢市に売却することになり、このほど撤去された。同碑は、令息の朝倉斯道氏（54年死去）が同地を社会教育に役立てることを条件に昭和25年公民館敷地として町会連合会に売却して以来、公民館でお守りしてきたもの。

なお、9月25日には同碑とお別れの供養法要—写真下—を各種団体長参列のもと厳かにとり行ない永年の功德に感謝の意を捧げた。近く文化会館前に自然石の記念碑を建て、こんごも朝倉家の恩情に応えることにしている。



◆彦三5番丁がソフトに優勝

降雨延期のため交歓試合に終わった秋の町会対抗ソフトボール大会は、10月3日の運動会も晴天で無事終了したため、再度監督会議の結果最終戦まで続行することになり、10月17日(日)に準々優勝戦から行なわれた。

このため、町会によっては選手が揃わず棄権したチームもでたが、熱戦の末彦三5番丁が見事優勝の栄冠を獲得した。2位五宝町上3位北親会。

試合結果つぎの通り

〈優勝戦〉	彦三5	0 2 2 1 0	5
	五宝上	1 0 0 0 0	1
〈準優勝戦〉	彦三5	9—5	北親会
	五宝上	7—6	塩屋中
〈準々優勝戦〉	彦三5	10—3	彦三7
	北親会 (抽選勝)	8—8	堀川間ノ町

◆人気好評のトランポリン教室

4月発足した児童館は、その後つぎつぎと

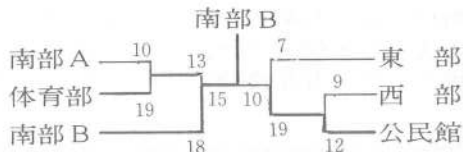
子供たちに人気のある遊具が設備され、連日賑っている。

なかでも毎週金曜日午後2時半～4時まで開設のトランポリン教室は順番を待つ子供の行列—そのほか横飛び用のものや、すもうマットなどもあるが、つぎのような日程割りふりで使用することになっている。

〈月〉トリムジャンポリン、くねくねトンネル、トランポリンツイスター、〈火〉巧木台〈水〉トリムジャンポリン、パドミントン、トランポリンツイスター〈木〉ピンポン、パドミントン〈金〉トランポリン、体力測定〈土〉くねくねトンネル、トランポリンツイスター すもうマット

◆ゲートボール大会に南部B組が初優勝

校下のゲートボール熱もようやく高まりつつあるが、10月24日(日)午前8時半から6チームが参加して総仕上げの大会をひらき、接戦、歓声のなかで南部鶴亀会B組（新、小間、北、西岡、岩崎、越村）が公民館チームを15対10で降し初優勝した。2年連続優勝の西部鶴亀会は1回戦で惜敗した。2位公民館。



◆緑と花のセミナー10月19日終講

6月21日から10回にわたり石川花の会役員橋本竜太、島村嘉一両先生に習っていた趣味の園芸教室「緑と花のセミナー」は10月19日で無事終了。修了証書代りにシャコバサボテン、シクラメン、ポインセチア、セントリアなど鉢植えを貰って閉講した。

◆乳幼児をもつ母親学級終わる

校下の乳幼児をもつ若い母親学級は、おしゅうとめさんも交じえて19人。9月9日の「ムシ歯の予防」を皮切りに「親子のふれあい体操」「家庭のしつけと家族の役割」「発育過程と特徴、その対応策」「離乳食、幼児食のモデル」を専門家の先生に聞き、10月21日意見交換で終了した。おしゅうとめさんたちも「よい話を聞いた。ヨメにも参加させたかった」と好評だった。

趣味の会服

新

彦三町2丁目10—19
TEL 61—8052

昭和57年12月

12月号

No.127

公民館だより ひょうたん

発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476番

盛況裡に第5回文化祭

バザー・芸能祭・作品展・餅つき・映画会



①押すな押すなのバザー



②趣味豊かな作品展



③昔なつかしいモチつき



④賑かな芸能祭

瓢箪町公民館の第5回文化祭は、10月31日(日)から11月3日(水)まで4日間にわたり、新装なった文化会館全館をフルにを使って多彩な行事をくりひろげ、通算やく2,000人の出入りで賑った10月31日(日)の初日は、まず午前9時半から2階ホールにぎっしり並べられた各家庭からの石けん、タオル、食器、装飾品、食料品はては自転車、カーペットなど数千点に及び、どっと押しかけた数百人の殺到でたちまち売り切れの盛況だった。

午後は、芸能祭で婦人会と瀬尾社中の民謡踊りに歌謡曲の飛び入り、続いて町対抗歌合戦がくりひろげられ、五宝町上組が優勝、2位古餌指町、3位堀川間ノ町、熱演賞に岩根町東部、ユーモア賞に公民館チームだった。

この間、やきとり、おでん、すし、ジュース、ヤクルトの売店も大忙しの繁盛ぶりだった。

11月3日の文化の日は、午前9時半からもちつき大会で紅白のモチが集まった子供たち120人に手渡され、続いて正午まで「少年と海」の映画を観賞した。

なお、各教室の成果を誇る生花、絵画、書道、押絵、植木鉢、俳句などが老人憩いの家会議室および児童遊戯室に4日間展示され、家族づれの観覧者の眼を楽しませた。

また、昭和2年4月22日付北国夕刊が生々しく伝える「彦三大火」の新聞も展示され、当時のすさまじさに食い入るように足を止めた観覧者も少なくなかった。

1月14日(金)夜7時から「明治・大正時代の金沢」講演会

◆記念バレー大会に象眼下が優勝

文化祭記念の町会対抗バレーボール大会は11月1～4日まで校下15町会が参加して熱戦の結果、象眼町下組が塩屋町下組を2-1の接戦で降し優勝した。3位岩根町下1、彦三5下。戦績つぎのとおり。

岩根下1	2	2	彦三5下	2
彦三5上中	0	2	母衣町	0
堀川間ノ町	2	1	塩屋中	2
彦三2上	0	0	彦三4	0
古餌指	2	2	彦三7	0
巴町	0	1	塩屋下	2
岩根東	0	2	象眼上	0
象眼下	2	2		

◆校下互礼会は元日午前11時

校下恒例の新年互礼会は、1月1日午前11時から文化会館老人憩いの家で行う。各種団体長、町会長ほかどなたでも参加して下さい。準備の都合上、出席者は12月25日(土)までに会費千円をそえて公民館へ申込んで下さい。

◆成人式は1月15日文化会館で

57年度の瓢箪町校下成人式は、1月15日午前10時から久しぶりに新装なった文化会館2階ホールで行なわれる。

式は、君が代、市民憲章斉唱ののち村井公民館長が式辞をのべ、市長代理および沢田町連会長がそれぞれ祝辞をのべて記念品を贈る。

記念品は、昨年同様印鑑(各町会負担)と公民館からケーキ、市から市民便覧の小冊子が贈られる。

ことしの成人は、昭和37年4月2日から翌年4月1日までに生まれた55人と校下外からの参加者3名の見込みで、記念講演、記念撮影も予定されている。

◆鶴亀会、厳かに合同法要

校下の南部、東部、西部3鶴亀会は、11月9日午前10時から瓢箪町22-13松立寺で、ことし死去された会員7人の合同法要を行なった。

知事、市長、国会議員、県市議の代理ら来賓をはじめ校下各種団体長、遺族、会員やく50余人が参加、市長代理と涌波校下社会福祉協議会長がそれぞれ「亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、老人憩いの家ができ、健康な集いの場にしてほしい」と会員

を励ました。つづいて、村上松立寺住職が導師となって読経、遺族、来賓、会員焼香のあと、四辻恵光寺住職の法話を聞いて11時半散会した。



鶴亀会合同法要

◆バザー、運動会の益金を配分

第9回校下大運動会(10月3日)の剰余金12万9,438円と10月31日のチャリティバザー売上金(浄財含む)13万8,380円の配分は、11月12日の公民館運営審議会の結果つぎの通り配分することにした。

- 校下ボランティア活動資金として社会福祉協議会へ寄付 66,430円
- 文化会館展示用パネル製作補助 71,950円
- バレーボールユニフォーム 50,000円
- 公民館委員研修補助 70,000円
- 繰越金 9,438円

◆文化会館年末年始の休館お知らせ

文化会館の年末年始休館日は、12月28日(火)午後から1月3日(月)までで、4日(火)から平常通り開館いたします。

ワン公もゲートボールが大好き!?

校下のゲートボール熱も高まり、老人憩いの家の前庭で熱心な練習風景がよく見られる。

ところが、11月はじめのある日、うす茶色の日本犬がお年寄りのゲートボールの最中、何を思っか赤い球のひとつをくわえて小学校方面へ一目散に逃げ去った。心当たりの方は公民館へー。

お歳暮に……………高級和用酒専門店

・飲料水卸 ・調味料 ・たばこ

株式
会社

村井 酒店

金沢市瓢箪町5-10(西別院正門前)

☎33-2473

昭和58年1月

1月号

No128



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476番

年頭のごあいさつ

偉大なる財産の利用を

瓢箪町公民館長 村井 義明

校下の皆さまには御家族お揃いで希望に胸ふくらませ、新年のお祝いと、さらに本年も幸多かれと祈られたことと存じ、お慶びを申しあげます。

昨年、幾多の公民館活動の展開がありましたが、温かいご支援のもとそれぞれ滞りなく盛会のうちに運ばせていただきましたこと、厚く御礼を申しあげます。

さて、久しく望まれていました公民館の改築も多くの方々有形無形の御援助を賜り、金沢400年4月8日吉日をもって開館の運びとなり、より以上の活動の範囲を広められることとなり御同慶の至りです。

また、この慶びに加え公民館今日の基礎づくりに大きな功績を賜りました朝倉雲洞院碑（装移築）がなり、跡地が立派な児童公園として生まれ変わろうとしています。

これ偏に先輩諸氏をはじめ皆さま方のご厚情の賜であり、校下の大きな財産です。いついつまでも大切にお守りせねばなりません。

大きく生まれ変わりすべての機能を備えたこの会館も、より有意義に活用するには、みなさまおひとり一人の自発的な参加です。どうぞ気軽にお越しをいただき語り合い、横のつながりを広めたいものです。

近年対話の大切さが忘れられ勝ちとなり、青少年の非行、親子の断絶等々が目に余り、物より心の大切さが叫ばれたしたのもムべなるかなといわざるを得ません。いま一度原点に立ち返り一歩一歩の足もとを確実にしたいと心を新たにす次第です。

文化会館を生涯学習の場に

瓢箪文化会館館長 沢田 由太郎

あけましておめでとうございます。昨年は中近東、南米をはじめ戦争の危機に揺れ動く世界情勢のなか、国内的にも鈴木、中曽根内閣の交代、景気沈滞など大変な年でしたが、わが校下では懸案の瓢箪文化会館が立派に完成しすばらしい年だったと思います。これひとえに校下民各位の全員の融和による賜と御同慶にたえません。

さらには年末近くに、町連管理の同館隣接敷地を市に無事移管することができ、ことから児童公園として広く安らぎの緑地帯となるばかりでなく、文化会館の運営費についてもこれまで町会負担を通じて各世帯にご迷惑をかけてきました諸費用が軽減され、町会本来の独自の活動ができる一助にもなることでしょう。いわば長年の念願が一石二鳥の姿で解決できたのではなからうかと喜んでゐる次第です。

問題は、この恵まれた地域連帯活動の場をいかに活用し、これからの高齢化社会を各年代層を通じて退屈することなく、生甲斐のある交遊の場とするかにかかっています。仏を作って魂を入れ忘れないよう一人一人がこの文化会館を大いに活用されますよう、重ね重ね願ってやみません。

オアシスの輪を拡げよう

学校長 三谷 久市

皆さまにはご一家お揃いで輝やかしい1983年の新春を迎えられ希望に満ち溢れた計画を

それぞれ樹立されたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は10月7・8日、本校ひさご学級で文部省指定研究の情緒障害教育全国発表大会。10月29日は、本校の第19回理科教育研究発表会。11月18～20日には、ソニー理科教育中日本特別研修会の三つの大きな研究発表がそれぞれ盛会のうちに終えることができました。これは皆さま方の暖かいご支援・ご協力の賜であり、飽くことを知らない子ども達の追究意欲であり、そして誠実で熱心に教育道に励む職員の和の力であると衷心より感謝しております。

本校児童に一人の交通事故者もなく非行に走る子もない現状を本当に嬉しく思います。これは学校と社会と家庭との連携がうまくいっている証拠だと思います。私は今年のこの館報新年号に「オアシス運動」を提言いたしました。朝の晴れやかなあいさつ（オハヨウゴザイマス）。感謝の気持ちを込めたアリガトウの言葉。他人を思いやる心（シツレイシマシタ）。素直なあやまりの態度（スミマセン）が自然に子ども達の生活語として身につく人間性の豊かさを感じ喜んでおります。

学校から各家庭へ、そして瓢箪町校下全体にこのオアシス運動の輪が広がっていくことを念願しております。

親子のふれ合い

児童館長 堀 部 泰 資

明けましておめでとうございます。

金沢市立瓢箪児童館もめでたく、初めての新春を迎えることができましたことを心からお慶び申し上げます。これもひとえに市当局のご指導と校下諸団体の方々との暖かいご援助のおかげと衷心より感謝いたしております。

児童館にふさわしい近代的な施設・設備も整備され、また校下在住の有志の方々からの児童図書や寄贈も相つぎ、毎日幼児・小学生が来館活用している姿を見て、ほんとうにうれしく思います。

さらに開館と同時に発足しました児童館のPTA・母親クラブも結成され、親子の健全なふれ合いの場として、子どもの家庭でのしつけ・遊びや暮らし方などの講演会、親子

天体観測会・卓球大会・映画・版画・料理各教室…など多彩な行事をして参りました。

本年も皆様方のお知恵やご協力を得ましてより充実した楽しい行事や催し物を計画していきたいと存じます。

校下に住むお子さま方の健やかな成長を願い、お子さまやお母さま方の積極的な参加を児童館の中川・北両指導員がお待ちいたしております。皆さま方の倍旧のご支援をお願いいたします。

本年が皆さま方にとりまして、よき年でありますよう祈念いたしております。

「晴耕雨読」の場に

老人憩いの家室長 清 水 外喜男

万象新たに希望に満ちる新年を迎えお目出とうございます。

昨年4月校下民待望の三館共有の文化会館が落成し、ことに老人憩いの家は木の香も新しい和室2室を利用して頂けた事は誠に有難く深謝しております。

折角の御厚志を無にする事なく老友男女共皆様の真の憩いの館に発展して行く事を期待する次第です。炎天夏日の下でゲートボール競技の講習会を開催したところ、多数の参加者が熱心に受講され、汗を流しながら練習に励んだ結果、秋には公民館の若人達も混じってのゲートボール大会に南部老人チームが堂々の優勝をするまでに発展しました。雨天の日は一服の番茶をすすりながら昔の自慢話などに花が咲くなど多数の老友が健康で出席され、名実ともに「晴耕雨読」の憩いの館となりました。

本年は一層多数の方々が参集され英知を傾け、心からの殿堂にしたいと願うものです。私も古稀の坂を越し73年目の新年を迎えますが、新年たびにいつもながら身の引きしまる思いが致します。

一年の計は元旦にありで、一年の大計を神仏に祈念致しますが、なかなか実行は容易ではありません。本年こそ健康に感謝しながら幾分でも校下の明るく豊かな町づくりに余生を捧げたく思いますので、よろしくご指導をお願いいたします。

お買いぞめは 横安江町商店街へ



成人式おめでとう!

とし1月15日晴れて成人式を迎えるのは昭和37年4月2日から翌38年4月1日の間に生まれたもの。校下では男34、女31の合計65名で前年より1名増。

午前10時(受付9時)から瓢箪文化会館2階ホールで開き、市長代理、沢田町連会長からお祝の言葉と記念品がそれぞれ贈られ、昨市文学賞を受けた民俗文化財展示館長小原啓介氏の記念講演会と記念撮影がある。町会から贈呈のお祝いは、これから責任ある行動をするよう印鑑のほか、公民館からケーキと式後の簡単なパーティーをはじめて開くことにしている。

成人式該当者名簿 (65名)

町会	氏名	住所
南睦会	山田敬一	彦三町1-8-4
〃	遠藤岳史	〃 1-9-12
〃	地藤昌世	〃 1-7-23
北親会	釣沢由美	〃 1-12-15
彦三・2下	東浩晃	〃 1-14-15
〃	小林初恵	〃 1-15-30
彦三・4	香村暢子	尾張町2-6-12
〃	滝沢和世	彦三町1-4-28
彦三・5上	新鞍晃久	〃 1-14-1
〃	多賀正直	〃 1-14-3
〃	中島行雄	〃 1-14-8
彦三・5中	福田英生	〃 2-12-17
〃	大友元	〃 1-15-10
〃	高橋伸子	〃 2-13-5
彦三・6	北和彦	〃 2-2-7
〃	福井直美	〃 2-3-15
〃	瀬戸朗子	〃 2-6-23
彦三・7	中山孝	〃 2-7-17
〃	近岡美加子	〃 2-6-28
〃	寺田真紀子	〃 2-1-42
〃	大橋寛子	瓢箪町2-11
彦三・8	山崎司	彦三町2-1-27

横安江町	中野靖子	安江町13-30
〃	島田広子	〃 15-57
象眼町上	樋口幸広	〃 19-11
〃	〃 ゆかり	〃 〃
〃	清水敦	〃 17-1
〃	酒井昌彦	〃 18-21
象眼町下	岡部雅利	笠市町6-38
〃	東和秀	〃 6-30
笠市町	津田利香	〃 4-26
〃	今井文雄	〃 10-14
堀川間ノ町	荒谷勝明	〃 15-35
〃	砂山和美	〃 15-25
〃	高橋ゆかり	〃 15-20
〃	改瀬 斉	堀川町11-10
五宝町上	吉川真樹子	瓢箪町1-1
五宝町中2	中野雄吉郎	〃 5-5
〃	川嶋若恵	笠市町2-51
五宝町下	片山実	〃 11-5
〃	高柳真理	瓢箪町8-1
塩屋町上	表聡太郎	〃 16-10
〃	田中幸代	〃 14-30
塩屋町中	吉室幸恵	〃 20-18
〃	大久保浩吉	〃 15-8
〃	白江正明	〃 20-15
〃	西野陽子	〃 16-22
〃	千保涉	〃 19-3
塩屋町下	中野善夫	〃 7-31
〃	若松浩行	〃 7-31 畠山方
岩根町東	上田晋司	彦三町1-9-31
〃	池田直之	〃 〃
〃	斉田伸代	〃 〃
〃	伊藤勝美	瓢箪町25-17
〃	越丸京子	〃 13-16
岩根町西	得能正弘	〃 12-39
〃	笹田健治	〃 15-16
岩根町下一	河上康一	〃 17-18
〃	元由里江	〃 7-21
あげば会	村上一弘	〃 10-11
〃	木村清美	〃 8-18
〃	豊岡拓	笠市町12-10
校下外	喜田和佳子	若松町ツ105
〃	松岡優子	河北郡内灘町
〃	今村真美	アカシヤ1丁目98
		昌永町15-67

成人式おめでとう
貸衣裳は

ことぶき

金沢店/笠市町2番6号

TEL 21-7561(代)

厳かに雲洞院 記念碑の除幕式

瓢箪児童公園用地として市に移管のため去る10月撤去された朝倉雲洞院碑を偲んで文化会館正面横に新しく「朝倉雲洞院記念の碑」が建立された。12月15日の吉日を選んでその除幕式が午後1時から雨の中厳修され、神戸市からお孫さんの朝倉稔さんも参列、感慨深げに除幕のヒモを引いた。

水をふくんで重さ5トンもある伊予（愛媛県）の蛇紋石はきれいな青味をたたえ見事な大石。三谷小学校長の揮毫による「朝倉雲洞院記念の碑」裏面には「永遠に感謝をこめて一瓢箪文化会館建設実行委員会」の文字が力強く彫りこまれ、この地を30年前に提供された朝倉家に校下民の率直な感謝の念を後世まで伝えるることだろう。

続いて記念パーティーが会館2階ホールで開かれ、沢田会長から、朝倉稔、高木外喜男、古田作次郎、太田兵吉4氏と藤沢加三郎、岡田清、野上米吉、川崎政雄4氏のご遺族に感謝状が贈られ、当時のご苦勞を偲んだ。（写真）は雨の中の除幕式）



◆旗源平は1月9日(日)

少年連盟主催の町対抗「旗源平」大会は、1月9日(日)午前9時から瓢箪文化会館2階ホールで行なわれる。

1チーム5人で、町会から何組でも出場できます。各町少連育成委員は1月6日(木)までに出場チーム数を公民館へお知らせ下さい。

第4回文化講演会は1月14日(金)

北陸大学助教授 小林 輝 治 先生

と き 1月14日(金) ヨル7時

ところ 瓢箪文化会館2階ホール

演 題 「明治・大正時代の金沢」

＝泉鏡花・徳田秋声文学を中心に＝
お誘い合わせご聴講をお待ちします。

◆親子仲よく趣味に学習に

公民館の新しい活動として学習に趣味に親と子の仲よしふれあいグループの結成が叫ばれ、12月4日「版画工作」翌5日「趣味のお茶」12月26日には「読書」の3つのグループが発足した。

これは、国の補助で新築された公民館が市の指定を受けて行なう初の試みで、1グループごとに20人の定員。年賀状のシーズンとあって版画は定員の20人に達し、早速イモやゴム、木版に思い思いの絵を写した。細川瓢箪町小学校図工担当を先生に熱心に3回にわけて仕上げた。また「お茶グループ」は皇 皇煎茶の九野光昭先生にぎぶとんの運び方からお菓子の食べ方まで、わが家と勝手の違う礼儀作法にいささか子供たちも戸惑い気味だったが親子和気あいあいの勉強ぶりだった。なお読書グループは三谷校長、山下教頭先生の指導で行ないますが、まだまだ余裕がありますので参加のほど。（写真）は煎茶のおけいこ



◆ゲ・リーグ戦に南部が優勝

11月23日の勤労感謝の日に校下3鶴亀会のゲートボール納会を兼ねたリーグ戦を小学校運動場で行なった結果、南部が2勝0敗で優勝した。3鶴亀会とも日ごろの練習の成果が出はじめ、どの試合も逆転の機会ある好試合だった。試合終了後、老人憩いの家に愛好者20数人が集まってなごやかに談笑したが、冬期間も何とか練習を続けたいという熱心な意見が強かった。

西部 16—14 東部 南部 10—8 東部
南部14—10西部 南部 2勝 西部 1勝 1敗
東部 2敗の成績順。

昭和58年2月

2月号

No129



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476番



“若さの美” ホールいっぱい

初の成人式パーティー大成功

てとしの校下成人式は、雪のない1月15日、10時から新装なった瓢箪文化会館で新成人50人(男23人、女27人)来賓、世話役ら30余人、父兄ら20人の百余人が参加して盛大に開かれた。出席率は75.8%で昨年より7.6%も高く好成績だった。

君が代、市民憲章斉唱のあと式辞に立った村井公民館長が「権利と義務を同時に付与された一人前となるが、忍耐の心を忘れないでほしい」とお祝いと励ましを述べ、市長代理岸公害センター所長、沢田町連会長から「激動の現代を生き抜く主体性を確立し、金沢の未来像づくりに若い英知を傾けてほしい」と祝辞があり、「はたちのしおり」と印鑑が記念品として手渡された。また小学校卒業時の恩師沢田和子先生も「8年前の顔が懐かしいというより、見事に成長された輝くばかりの美しさに驚いた」とお祝いをのべた。誓いの言葉に起った男子代表福田英生君は「自己を高め

社会の進歩発達に寄与する覚悟です」と力強く決意をのべ、女子代表福井直美さんも「社会人としての責任感と常識をもって思いやりの人生を歩み続けます」とやさしい女らしさのなかにも固い決意をのべて式を閉じた。

ついで記念講演に入り、昨年11月市民文学賞を受賞した旧鍛冶町(此花校下)の小笠原啓介氏(市民俗文化財展示館長)は「職人の道具の教え」と題して①若い時から鍛え抜いた本物は年老いても役立つ(ノミの刃の教え)②自己を正しくしなければ他人を正しくはできない(玄能の教え)③自分の最高の輝きを發揮せよ(桐のゲタを作る十能ノミの教え)と若人を励ました。

記念写真のあと初のパーティーを開いたが、久しぶりの級友の再会とあって話がはずみ新装のホールいっぱいに若さの美がこぼれあふれた。

「立志のつどい」は3月6日(午前10時)文化会館で

◆旗源平大会にどっと110名

優勝は彦三6番丁C組

金沢に伝わる昔ながらの遊び「旗源平大会」が1月9日(日)午前9時半から文化会館2階ホールで盛大に行なわれ、彦三6番丁Cチームが晴れの優勝を飾った。

参加したのは北親会の4チームを筆頭に22チーム110人のこどもたちと、主催者の少連役員、父兄ら130人。源氏と平家に分れてサイコロをふるたびにカン高い声とざわめきがホールいっぱいに響きわたり新春らしい風景だった。2位横安江町、3位岩根町東部、岩根町下一部。

◆歩こう会、2月6日投票後小坂神社へ

ひさご歩こう会2月の行事は、6日午前7時文化会館前に集合、この日知事選投票日のため小学校へ立寄り、まず投票を済ませたのち目的地の小坂神社へ向かう。

◆文豪を育てた金沢の土壤

第4回文化講演会は1月14日(金)午後7時から公民館会議室でやく30人が参加して開かれた。講師は北陸大学助教授の小林輝治先生で「明治・大正時代の金沢」と題して郷土金沢が生んだ文豪泉鏡花、徳田秋声、尾山篤二郎らを中心に生い立ち、作品、その特色などを話した。

鏡花は旧下新町(尾張町裏通り)秋声は横山町、篤二郎は横安江町で生まれ、恵まれぬ境遇のなかに子供のときの祭り、とくに金沢独特の太鼓行列の思い出がこと細かく書かれ、浅野川の影響が大きく、一見しとやかな中にもシンの強い金沢の女をテーマとしている。郷土金沢を決していい土地とはほめていないが、心の底には少年時代の夢を深く抱いた懐きさでいっぱいのようなだった。犀川を描いた作家は犀星、島田清次郎、井上靖など数少ないが浅野川は女川といわれるほど10指に及ぶ作家が作品に取上げており、前記3人のほかに水戸光子、深田久弥、杉森久英、堀田善衛らがいる。昔の少年の遊びが亡びつつあるのは残念で、このままでは文豪不毛の地になろうーと文学の面から金沢の現状を鋭く批判した。

〈第5回文化講演会〉

と き 3月3日(木)午後7時30分
ところ 瓢箪町公民館会議室
テーマ 「金沢の未来像」=こんご
の金沢はどうあるべきか=
講 師 金沢市企画課長
中村 博 先生

◆厳肅裡に新年互礼会

町連主催の校下新年互礼会は、1月1日午前11時から文化会館2階ホールに各種団体長町会長、公民館役職員ら31人が参加して開かれた。君が代斉唱のあと沢田町連会長、村井公民館長からそれぞれ「昨年の協力を感じ、58年も心新たに明るく豊かな校下づくりに努力しましょう」とあいさつし、なごやかに新年を祝いあった。

◆児童館初の卓球大会

児童館の親子ピンポン大会が11月14日(日)はじめて行なわれ、50余人が参加しなごやかな1日だった。成績つぎの通り。

〈小学3・4年〉 ◇男子①福田修一②篠原渉③清水信一・佐々尾賢二 ◇女子①紙谷知恵②秋田育代③紺谷昌代

〈小学5・6年〉 ◇男子①敷波智②敷波宏一③浜田行章・紺谷英之 ◇女子①米倉由起美②加藤三紀子③今井ちえ

〈母親〉 ①竹内節子②久和子③岡村富美子
清水礼子

◆仲良しスポーツ少年団の卓球大会

金沢市スポーツ少年団卓球大会が昨年12月19日行なわれたが、校下から仲良しスポーツ少年団が参加、女子が団体3位に入賞したほか、個人戦で横川宗弘君が3位、OB戦では小將町中学が団体2位に入賞した。

◆公民館・児童館へ図書の寄贈

越井清太郎(彦三7)岡田久夫(彦三2上)新幸造(彦三6)の3氏は、このほど両館へアンデルセン童話集や世界文学全集などを寄贈した。

卒業
就職

祝いに実印を贈りましょう

一平堂印舗

彦三町1丁目 TEL 31-0608

若林 繁

昭和58年 3月

3月号

No. 130



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476番

開館一周年
記念行事

カラオケ・囲碁・ゲートボール

文化会館が落成してから丁度1年—公民館では関係団体と協力して一周年記念行事を次の通り予定しています。皆さんの多数の御参加を期待します。

●**囲碁大会** 4月24日(日)午前10時から老人憩いの家(文化会館内)でA級(1級以上)B級(2級以下)に分れて行う。会費千円、昼食、賞品用意。申込は4月19日までに。

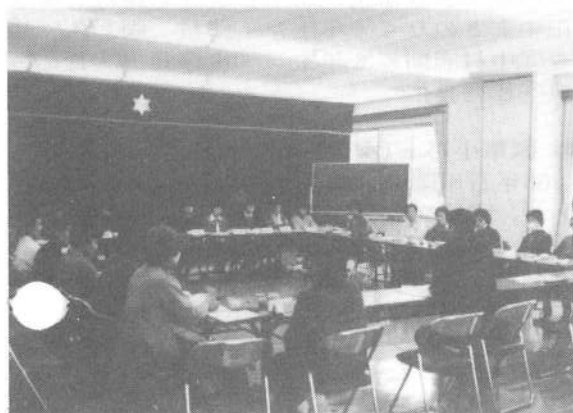
◎**ゲートボール大会** 4月29日(祝)午前9時

から小学校運動場で行なう。申込は、夫婦、親子、祖父母と孫、嫁としゅうとめのペア及び60歳以上は単独いづれでもよい。参加料は1人100円で4月22日メ切り。

◎**カラオケ教室** 4、5月および9、10月の2期に分けて毎週木曜日(原則)午後7時半から文化会館2階ホールで行なう。気軽に練習に参加して下さい。参加申込は会費月千円をそえて3月末日までに公民館へ。

少年非行は大人の責任

＝ 防犯少年課市川警部の講演から ＝



高校生の売春、シンナー遊び、小中学生の万引、学校内暴力から家庭内暴力など連日新聞を賑わしており、少年非行問題はいまやアメリカなみの富める社会の暗い影として緊急な対策が叫ばれている。

瓢箪町校下青少年健全育成会議(代表村井義明公民館長)では2月12日(土)午後2時から校下の婦人部長会議をかりて県警本部防犯部防犯少年課市川隆俊警部を招き「非行の実態と家庭の対応策」について講演会を開いた。

少年の非行は単なる偶発的なものではなく大人の社会の縮図で、大人の社会いわばひとり一人の家庭がよくならなければ、根絶できない。昭和26年ごろ朝鮮戦争景気で戦後第一

のピークを迎え、39年ごろの高度経済成長、新幹線開通、東京オリンピック時期に第二のピーク、そしていまが丁度第三のピークを迎えている。

石川県も全国なみの推移と軌を一にしており、57年1年間の非行総数は3万1千件。前年より約2千件減少したとはいえ、10歳～19歳まで青少年22万人のうち3万1千人、7人に1人が何らかの非行で補導されており、大人を含めた犯罪の約61%を占めている。

その8割が窃盗で、しかも計画的であり巧妙な手口となり、中学生が高校生を抜く状況である。うち万引が中学生、小学生にも波及し高校生とほぼ同数、しかも60%近くが女子であり、女子高校生の売春も昭和32年売春防止法発足当時の青線、赤線700人に匹敵する数となっている。シンナー遊びも規制当初の47年6人に比べ200人台と30倍にもふくれている。シンナーの後遺症がやがて出る時がくるのではないかと。

この大きな原因は大人の社会にあるが、とくに教育が問題であり、97%の高校進学率を誇る一面、中退組も多く非行への引金になりやすい。家庭にしても共働きが多く、食事にしても母親の愛情をこめたものが少なくなり物質的生活に恵まれてきた割に、精神的栄養に欠けたことに起因しているのではないかと。

◆ 親と子の読書・工作・お茶グループ活発

去る12月4日から始まった親子の「読書」「版画工作」「趣味のお茶」3グループ活動は、小学校、育友会、児童館母親クラブ等の協力で参加者が急増し、講師の諸先生もやり甲斐があると張切っている。

読書グループは当初6～7名だったが、3回目で46人にふえ、次回までの貸出しも40冊に達し、楽しい親子の読書時間をもっている。3月は6日、13日で終了する。



版画工作は、年賀状作り以後は紙細工、フォークダンス、つりの話を終え3月12日(土)のトランプを使ったマジックを習う。会員数は29人。

趣味のお茶グループは、煎茶3回、抹茶4回を終えたほか、X'マスケーキ作りを楽しみ3月は6、13日が煎茶、20、27日がクッキーの作り方で閉講となる。会員数は37人にのぼっており、いずれも女の子が多く親子のほほえましい空気であっばい。

◆ 第3回バドミントン大会は3月20日(日)

第3回校下バドミントン大会は3月20日(日)小学校体育館で午前10時から小、中学生、午後1時から一般の試合を行なう。申込は当日体育館で。

◆ 3月6日(日)の立志式80人

ことし満14歳を迎える中学2年生は、校下で男子55人、女子25人の80人。校下少年連盟(委員長 吉村武氏)では、昔の元服祝いにちなんで3月6日(日)午前10時から文化会館で「立志式」を行ない、お祝いの記念品を贈るとともに将来への道を選択して、自立への決意をうながすことにしている。

◆ 消防分団長に村井公民館長

昨年10月4日分団長中島外志男氏の死去以来空席となっていた第二消防団瓢箪分団長に副分団長村井義明氏の昇格がきまり、2月13日(日)午後2時から文化会館2階ホールで来賓団員ら70余人が出席して就任式ならびに新入団員2名の入団式が行なわれた。村井新団長は、公民館長の任期が明年3月末までであるので、それまで兼任する。

新陣容つぎの通り。

副分団長 宮岸敬治(新) 部長 田嶋英貞(新) 班長 吉村 武(再) 浅田昭治(新)

◆ 児童館の新年かるた大会

児童館主催の第1回新年かるた大会が1月30日(日)午前9時半から文化会館3階の児(こ)に40人が参加して開かれた。

小学校1年～3年生までが遊戯室でいろはがるた、4年～6年生が図書室で百人一首に腕を競い、寒さにも負けず元気な動作に正月らしい暖かいムードだった。

成績つぎの通り。

<小1年生>①山村しの②山崎みな③熊田ゆき子<2年生>①加藤しほ②志村美代子③熊田郁子<3年生>①木村ゆき②藤村 隆③田中まさのり<4年生>①藤村 潤②久 裕美③中村志朗<6年生>①後藤貴史②若林芳典③松井良仁

◆ 瓢箪小バド(女子)県チャンピオンに

66年石川国体に備えて第1回小学生バドミントン団体交歓会が2月20日(日)県体育館で男子8、女子16チームが参加して行われたが、校下から参加した瓢箪クラブA(女子)は予選リーグDブロックで3勝し、決勝トーナメント戦でも美川ジュニアを2対1で破り、初代チャンピオンに輝いた。

同チームは、植村・村井、堀・後川、川端・田嶋さんの6人。Bチームは予選で敗退した。

◆ 仲良しク男女とも3位に入賞

第14回市スポーツ少年団ミニバスケットボール大会が2月20日(日)新賢町小体育館で41チームが参加して行なわれ、校下から参加した仲良しスポーツ少年団が健闘、男女とも3位に入賞した。

出産祝、建前、新築披露
法要、年忌、運動会、行楽等

祝儀・仏事・会席・一品
料理仕出し **志 み ず**

瓢箪町小学校前通り TEL 33-3009